

## 鳥飼まちづくりグランドデザインワークショップ開催報告

エリア：居住性向上エリアA  
テーマ：魅力ある淀川河川敷

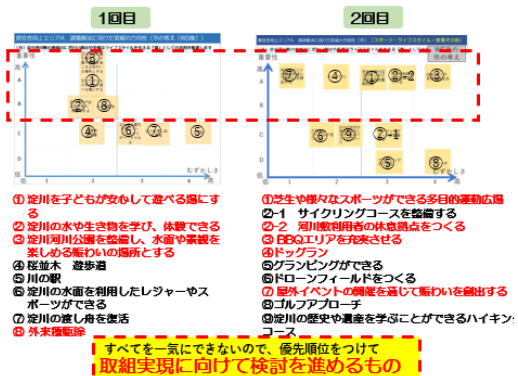
開催日時：令和6年3月28日（木）  
午後6時30分～午後8時30分  
開催場所：ゆうゆうホール鳥飼西  
参加者数：9名

これまで、魅力ある淀川河川敷をテーマに2回のワークショップを行ってきました。第3回目の開催となった今回は、これまで2回のワークショップで、重要度が高いとされた意見を優先順位が高いものとして、今後取り組んでいくこととしました。今回は、重要度の高い取組みのうち、ソフト面から検討を進めていく必要があるものと、ハード面による整備が必要なものに分けてグループワークを行いました。

### 今回の内容

1回目・2回目で議論された意見をもとに、重要度の高い意見について検討を進めていくこととしました。

#### 重要度が高い意見について



取組  
将来  
予想の  
実現化  
に向けた

重要度/難易度	意見番号	意見
A / 1	2回目 ⑦	屋外イベントの開催を通じて賑わいを創出する
A / 2	1回目 ③	淀川河川公園を整備し、水面や景観を楽しめる賑わいの場所とする
	1回目 ①	淀川を子どもが安心して遊べる場にする
	2回目 ④	ドッグラン（中型犬・大型犬）
A / 3	2回目 ①	芝生や様々なスポーツができる多目的運動広場
	2回目 ②-2	河川敷利用者の休憩拠点をつくる
A / 4	2回目 ③	BBQエリアを充実させる
B / 2	1回目 ②	淀川の水や生き物を学び、体験できる
	1回目 ⑧	外來種駆除

ハード整備  
が必要なもの  
↓  
市・市民では  
不可能  
↓  
国にお願い  
(要望)

※重要度A（高い）～D（低い）  
難易度1（易しい）～4（難しい）



ワークショップの様子1



ワークショップの様子2

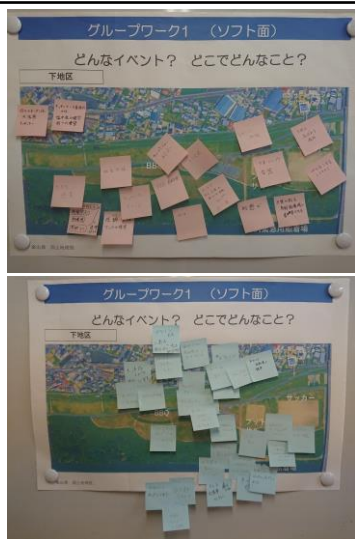


ワークショップの様子3

今回のワークショップの内容は次ページをご覧ください

## グループワーク1（ソフト面）

「屋外イベントの開催を通じて賑わいを創出する」が最も重要度の高い意見でした。2025大阪・関西万博機運醸成に向けた万博6カ月前イベントが10月13日に予定されていることから、イベント実施主体を募集するとともに、ここでどんなイベントをすれば淀川河川敷の賑わい創出に繋がるかについて議論してもらいました。



### ワークショップ参加者のご意見（抜粋）

- ・ スポーツ体験や職業体験ができるイベント
- ・ 大きな遊具（ブランコ）を使って普段味わえない体験ができるイベント
- ・ おもしろ自転車が暴走できるエリアを作る
- ・ 様々な動物と触れ合うことができるアニマルラン
- ・ 防災教育の観点から水の怖さを学べるコーナー
- ・ 環境に配慮し、ごみを使ったオリジナルのミャクミャクづくり体験で万博開催機運醸成に繋げる
- ・ 数百人規模の大演奏会
- ・ イベントのフィナーレとして、川の真ん中に櫓を立て、伐採樹木等を燃やすと盛り上がるのではないかな



## グループワーク2（ハード面）

ハード整備が必要な内容に関しては、市だけでは実現できないものとして国への要望を行うため、今ある意見の内容を掘り下げて議論し、この場所にこういった整備が必要かを考えてもらいました。

### ワークショップ参加者のご意見（抜粋）

- ・ 夏場に子どもが楽しめるよう噴水やミストを整備する
- ・ 地面の土や砂地に少し水を入れ、干潟や中州のような場所を作れば、こどもを安心して遊ばせる場所になるのではないかな
- ・ 鳥飼のシンボルとなるような樹木を植えることで、映えスポットになるほか、日陰ができるので休息場所にもなる
- ・ 移動式コンテナハウスを設置すれば、乳幼児のおむつ替えや、高齢者、障がい者等、多様な人が安心して休息できるスペースになる



## 各グループの検討結果を踏まえて

ソフト面に関する取組みは、今後予定されている万博6カ月前イベントに関連付けていくことができれば、淀川河川敷の賑わい創出に繋がると考えます。参加者の中にはイベント実施に関心が高い方が多く見られたため、市民と行政がそれぞれの役割分担を行い取組みを進めていければと思います。ハード整備が必要な意見に関しては、今回出た意見を市で整理し、国へ要望していくこととします。

魅力ある淀川河川敷をテーマとしたワークショップは今回でいったん終了することとし、次回は別エリアでの開催を行う予定です。

